NO.

093

心理 記憶はあてにならない

Can We Trust Our Memories?

記憶は信じられるか

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 293語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Most of us think of memory as a kind of video recording: an event happens, the brain stores it, and later we play it back. ❶**In fact**, memory works very differently. Each time we recall an experience, we rebuild it from fragments, filling in the gaps with what we expect or have heard since.

2 A famous experiment by Elizabeth Loftus showed how easily this happens. Participants watched a film of a car accident and were then asked how fast the cars were going when they "hit" or "smashed into" each other. Those who heard "smashed" gave higher estimates of speed. A week later, many of them even remembered seeing broken glass, although there had been none.

3 In court, eyewitnesses are often asked to ❷**pick out** a suspect from a line of faces. A witness may ❸**be convinced of** his choice and describe the scene ❹**in detail**, speaking ❺**as if** he were watching it again. Yet confidence is a poor guide to accuracy. In the United States, DNA evidence has shown that many people who had been ❻**charged with** serious crimes, and later convicted, were innocent, and mistaken eyewitness testimony played a role in many of these cases.

4 Memory ❼**is subject to** other distortions as well. We often ❽**mix up** the sources of information and cannot ❾**tell what we saw from** what we were told afterward. Old photographs can ❿**bring back** memories, but they can also add details that we only imagined.

5 None of this means that memory is useless. Our brains are designed not to keep perfect records but to ⓫**make sense of** the world. Still, ⓬**it is no use insisting** that we "clearly remember" something when others recall it differently. A little humility about our own memories may make us better witnesses.

語注 **fragment** 断片 **estimate** 見積もり **eyewitness** 目撃者 **testimony** 証言 **humility** 謙虚さ

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 in fact 実際は・それどころか □□□

前の内容を否定して「実は」と真実を述べる場合と、前の内容をさらに強める場合がある。actually / as a matter of fact と近い 例 *He looks young, but in fact he is over sixty.* 彼は若く見えるが、実は60歳を超えている。

2 pick out ~ ～を選び出す・見分ける □□□

多くの中から一つを取り出す。choose / select と近い。「（人混みの中から）見つけ出す」の意味もある 例 *She picked out a red dress for the party.* 彼女はパーティー用に赤いドレスを選んだ。

3 be convinced of ~ ～を確信している □□□

convince＝納得させる。be convinced that S V の形も多い。be sure of ~ / be confident of ~ と近い 例 *I am convinced of his innocence.* 私は彼の無実を確信している。

4 in detail 詳しく □□□

detail＝細部。in more detail（もっと詳しく）、in great detail（非常に詳しく）。detailed（詳細な）は形容詞 例 *Please explain your plan in detail.* あなたの計画を詳しく説明してください。

5 as if ~ まるで～のように □□□

後ろは仮定法（過去・過去完了）が基本だが、現実にありそうなことには直説法も使う。as though も同じ 例 *He talks as if he knew everything.* 彼はまるで何でも知っているかのように話す。

6 charge A with B A を B の罪で告発する □□□

with の後ろが罪名。受け身 be charged with ~ が多い。accuse A of B と前置詞が違う点が頻出 例 *He was charged with theft.* 彼は窃盗の罪で告発された。

7 be subject to ~ ～を受けやすい・～の対象となる □□□

subject＝支配下にある。後ろは名詞（変更・規則・病気など）。The plan is subject to change.（計画は変更されることがあります）が定番 例 *Prices are subject to change without notice.* 価格は予告なく変更されることがあります。

8 mix up ~ ～を混同する □□□

混ぜてしまう→取り違える。mix up A with B / mix A up with B（A を B と混同する）。名詞 mix-up（混乱・取り違え） 例 *I always mix up the twins' names.* 私はいつも双子の名前を取り違える。

9 tell A from B A を B と区別する □□□

tell は「見分ける」。distinguish A from B / know A from B と同じ。can't tell A from B（A と B の区別がつかない）の形が多い 例 *Can you tell a crow from a raven?* ハシボソガラスとワタリガラスの区別がつきますか。

10 bring back ~ ～を思い出させる・持ち帰る □□□

記憶を連れ戻す。This song brings back memories.（この歌を聞くと思い出がよみがえる）が定番。remind A of B と近い 例 *The smell of the sea brought back my childhood.* 海のにおいが子どもの頃を思い出させた。

11 make sense of ~ ～を理解する □□□

意味（sense）を作り出す→分かる。understand / figure out と同じ。make sense（意味が通じる）とは形が違う 例 *I couldn't make sense of his strange letter.* 彼の奇妙な手紙の意味が分からなかった。

12 It is no use ~ing ～しても無駄だ □□□

use は名詞で［ユース］と発音。There is no point in ~ing / It is useless to do と書き換え可。It is no use crying over spilt milk.（覆水盆に返らず）が定番 例 *It is no use complaining about the weather.* 天気に文句を言っても無駄だ。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第2段落の実験で分かったことは何か。

① 映像を見た人は、事故の速さを正確に覚えていた。
② 「激突した」と聞いた人は、速さを低く見積もった。
③ 質問に使われた一語によって、存在しなかったガラスの記憶まで生まれた。
④ 1週間たつと、参加者は事故のことを全く覚えていなかった。

問2 第3段落で筆者が述べていることはどれか。

① 目撃者が自信を持って詳しく語っても、それが正確だとは限らない。
② 目撃者の証言は、DNA 鑑定より常に信頼できる。
③ 自信のない目撃者ほど間違いが多い。
④ アメリカでは目撃証言が裁判で使われなくなった。

問3 What does the author conclude about memory?

① Memory is useless, so we should never trust it.
② Our brains keep perfect records of every event.
③ We should always insist on what we remember clearly.
④ Memory helps us understand the world, but we should be humble about it.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 実際は・それどころか
2 〜を選び出す・見分ける
3 〜を確信している
4 詳しく
5 まるで〜のように
6 A を B の罪で告発する
7 〜を受けやすい・〜の対象となる
8 〜を混同する
9 A を B と区別する
10 〜を思い出させる・持ち帰る
11 〜を理解する
12 〜しても無駄だ

背景知識 記憶はビデオのように保存されるのではなく、思い出すたびに組み立て直される「再構成」だと考えられている。アメリカの心理学者ロフタスは、事故の映像を見せた後の質問の言葉（hit か smashed か）で、速さの見積もりや「割れたガラスを見た」という偽りの記憶が変わることを示した。アメリカでは DNA 鑑定で無実が証明された事件の多くで、目撃証言の誤りが原因の一つだった。入試では「自信のある記憶ほど正しいとは限らない」という論点がよく出る。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 私たちの多くは、記憶を一種の録画のようなものだと考えている。出来事が起こると脳がそれを保存し、後でそれを再生する、というわけだ。**実際は**、記憶は全く違う働き方をする。経験を思い出すたびに、私たちはそれを断片から組み立て直し、すき間を、予想することやその後に聞いたことで埋めていくのである。

2 心理学者エリザベス・ロフタスによる有名な実験は、これがいかに簡単に起こるかを示した。参加者は自動車事故の映像を見た後、車が互いに「ぶつかった」とき、または「激突した」とき、どれくらいの速さで走っていたかを尋ねられた。「激突した」と聞いた人々は、速さをより高く見積もった。1週間後、彼らの多くは、実際には全くなかったのに、割れたガラスを見たことまで覚えていた。

3 法廷では、目撃者はしばしば、並んだ顔の中から容疑者を**選び出す**よう求められる。目撃者は自分の選択**を確信し**、まるでもう一度見ている**かのように**、その場面を**詳しく**語るかもしれない。しかし、自信は正確さの目安としては当てにならない。アメリカでは、重大な罪**で告発され**、後に有罪とされた人の多くが実は無実だったことが DNA 鑑定で明らかになっており、その多くの事件で目撃者の誤った証言が一因となっていた。

4 記憶は、ほかのゆがみ**も受けやすい**。私たちはしばしば情報の出どころ**を混同し**、自分が見たこと**と**後で聞かされたこと**を区別**できなくなる。古い写真は記憶**を呼び起こす**ことがあるが、想像しただけの細部を付け加えてしまうこともある。

5 だからといって、記憶が役に立たないわけではない。私たちの脳は、完璧な記録を残すためではなく、世界**を理解する**ために作られているのだ。それでも、他の人が違うように思い出しているときに、自分は「はっきり覚えている」と**言い張っても無駄だ**。自分の記憶に対して少し謙虚になれば、私たちはよりよい目撃者になれるかもしれない。

要旨 記憶は録画ではなく、思い出すたびに作り直されるため、言葉や後から得た情報でゆがみやすい。自信のある記憶でも間違うことがあると知り、自分の記憶に謙虚であることが大切だ。

解答・解説 ANSWERS

問1 3 **問2 1** **問3 4**

問1 正解 3 根拠は第2段落の A week later, many of them even remembered seeing broken glass, although there had been none。「激突した」という語を聞いた人は速さを高く見積もり、存在しないガラスまで覚えていたので 3 が正解。1 は質問の言葉で答えが変わったので「正確に覚えていた」とは言えない。2 は gave higher estimates of speed と逆。4 は事故の記憶はあり、むしろ余計な細部が加わっているので誤り。

問2 正解 1 根拠は第3段落の Yet confidence is a poor guide to accuracy（自信は正確さの当てにならない目安だ）。その前で、目撃者が自分の選択を確信し詳しく語る様子を描いているので 1 が正解。2 は DNA 鑑定によって誤った証言が明らかになったとあり逆。3 の「自信のない目撃者ほど間違う」は本文の主張と関係がない。4 の証言が使われなくなったという記述もない。

問3 正解 4 根拠は最終段落の None of this means that memory is useless と Our brains are designed not to keep perfect records but to make sense of the world、そして A little humility about our own memories may make us better witnesses。記憶は世界を理解するのに役立つが謙虚であるべきだという 4 が正解。1 は「役に立たないわけではない」に反する。2 は not to keep perfect records に反する。3 は it is no use insisting（言い張っても無駄だ）と逆である。